

徳島赤十字病院 第10回病院祭 市民と病院職員の交流深まる

徳島赤十字病院で4月23日、「地域の基幹病院として高度医療の実践～地域とともに創る明日の医療と健康～」をテーマに、第10回病院祭が開催され、市内外から約700名の家族連れが訪れました。

病院内では、内視鏡下手術の操作体験コーナーやお菓子の相談コーナー、医師による市民公開講座、えん下食を作る料理講習会など、様々な催し物が行われ、訪れた市民らと病院職員が交流を深めていました。

また、医師が乗車し救急現場へ出動する「ドクターカー」の展示コーナーでは、平成27年4月1日から運用を開始して1年が経過したドクターカーの実績（運用初年度：出動239件）などがパネルで紹介されたほか、車内見学も行われ、子どもたちが乗車体験をして楽しんでいました。

このほか、バルーンアート教室やハーモニカ演奏、コーラス、フラダンスなど、ボランティアグループによるイベントも行われ、来場者は普段と違った雰囲気の病院を楽しんでいました。



内視鏡下手術の操作体験に夢中になる子どもたち



ドクターカーの乗車体験を楽しむ子ども

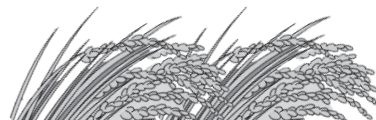


泥んこになりながら田植えを楽しむ子どもたち

親子が泥んこになって田植え体験

5月3日、大林町の武藏光雄さんの水田で田植え体験（主催：NPO法人里山の風景をつくる会、生活協同組合コープ自然派しこく、小松島市生物多様性農業推進協議会）が行われました。

県内外から参加した約120名の親子は、はだしになって水田に入り、泥の感触を楽しみながら、手作業で丁寧に苗を植えました。水田では、泥んこになった子どもたちの笑い声が響きわたっていました。



第34回小松島春のまつり・金長まつり 多彩なイベント大盛況

第34回小松島春のまつり・金長まつりが5月8日、金長神社や市営グラウンドで開催されました。会場では、ヒーローショーや阿波踊り、稚児行列・子どもみこし、大ビンゴゲーム大会、もち投げ大会など多彩なイベントが行われ、訪れた大勢の家族連れで終日にぎわっていました。



タヌキみこしを元気よく担ぐ子どもたち



もち投げ大会の様子